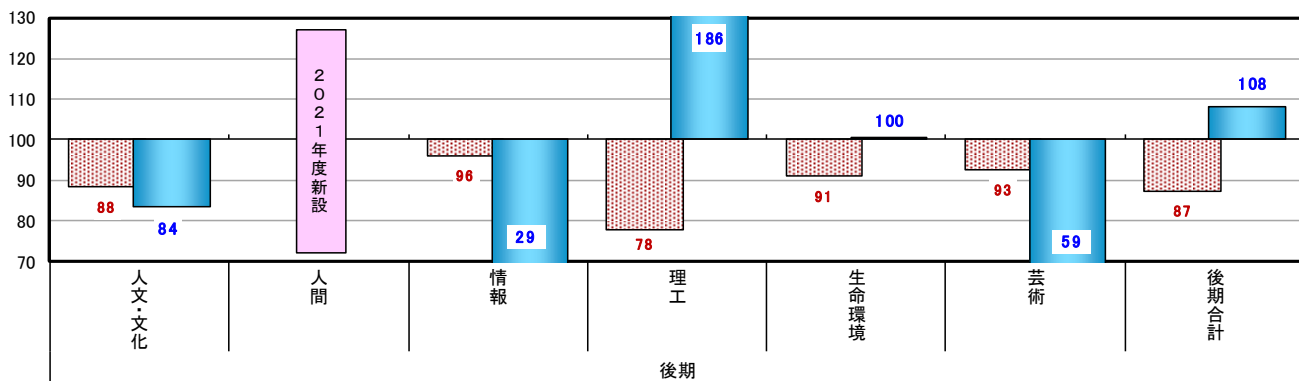
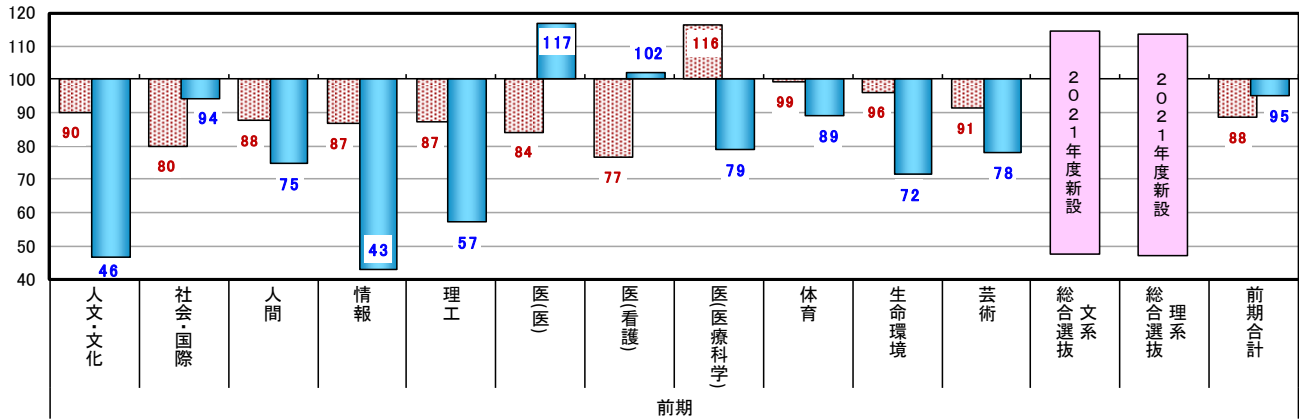


2021 年度入試状況分析【国公立大】

筑波大：総合選抜を新規実施、前期やや減少、後期は前年度の反動で増加 前期：-211人 後期：+114人

※前年度の志願者数を100とする指数

■ 2020年度/2019年度 ■ 2021年度/2020年度



入試変更点

※コロナ禍対策のため、一般選抜個別試験での調査書を用いた主体性等評価(調査書点数化)や一部、面接実施を見送り、調査書配点を除いた総点で選抜に変更。

選抜方法：新規実施<前>…総合選抜(文系)128人、(理系 I)154人、(理系 II)41人、(理系 III)90人

※2年次から志望する学類・専門学群(体育専門学群は除く)に所属

2段階選抜新規実施：人文・文化(比較文化)<前>…約5倍、情報(情報科学)<前>…約5倍

(情報メディア創成)<前>…約5倍

生命環境(生物)<前>…約5倍、<後>…約8倍 ※基準点を設ける

(地球)<後>…約8倍

芸術<後>…約6倍

第1段階選抜基準変更：理工(物理)<前>…約5倍(通過予定人数：225人)

→約10倍(通過予定人数：200人)

募集人員：人文・文化(人文)…<前>70人→45人、<後>17人→20人

(比較文化)…<前>50人→35人、<後>5人→0人 ※後期廃止

(日本語・日本文化)…<前>27人→0人 ※前期廃止

社会・国際(社会)…<前>64人→40人、(国際総合)…<前>60人→36人

人間(教育)…<前>28人→22人、<後>0人→3人 ※後期新規実施

(心理)…<前>38人→26人、<後>0人→4人 ※後期新規実施

(障害科学)…<前>20人→17人、<後>0人→3人 ※後期新規実施

情報(情報科学)…<前>50人→42人、<後>12人→0人 ※後期廃止

(情報メディア創成)…<前>30人→20人、<後>8人→0人 ※後期廃止

(知識情報・図書館)…<前>40人→0人、<後>15人→10人 ※前期廃止

理工(数学)…<前>28人→22人、(物理)…<前>45人→20人、<後>0人→10人 ※後期新規実施

(化学)…<前>35人→14人、<後>0人→10人 ※後期新規実施

(応用理工)…<前>82人→49人

(工学システム)…<前>82人→55人、(社会工)…<前>83人→60人

医(医)…<前>(一般枠)49人→44人、(地域枠)19人→18人、(看護)…<前>45人→40人

(医療科学)…<前>25人→15人

生命環境(生物)…<前>32人→14人、<後>20人→18人

(生物資源)…<前>63人→52人、<後>20人→15人

(地球)…<前>33人→21人、<後>5人→4人

芸術…<前>45人→50人、<後>15人→5人

共通テスト：人間(教育)<前>…国+歴公+数+外+(理 or 理基2)

2021 年度入試状況分析【国公立大】

	<p>※歴公：世Aor 世Bor 日Aor 日Bor 地Aor 地Bor 現 or 倫 or 政 or 倫政 ※数：数I or 数II・A or 数II or 数II・B →国+歴公+数2+外+(理 or 理基2)</p> <p>※歴公：世Bor 日Bor 地Bor 現 or 倫 or 政 or 倫政 ※数：数I・A+数II・B (心理)〈前〉…国+歴公+数2+外+(理 or 理基2)</p> <p>※歴公：世Aor 世Bor 日Aor 日Bor 地Aor 地Bor 現 or 倫 or 経 or 倫政 →国+歴公+数2+外+(理 or 理基2) ※歴公：世Bor 日Bor 地Bor 現 or 倫 or 政 or 倫政 (障害科学)〈前〉…国+歴公+数2+外+(理 or 理基2)</p> <p>※歴公：世Aor 世Bor 日Aor 日Bor 地Aor 地Bor 現 or 倫 or 政 or 倫政 →国+歴公+数2+外+(理 or 理基2) ※歴公：世Bor 日Bor 地Bor 現 or 倫 or 政 or 倫政 情報(情報メディア創成)〈前〉…パターン①：国+歴公+数2+理+外、パターン②：国+歴公+数2+理2+外 →国+歴公+数2+理2+外</p> <p>生命環境(生物資源)〈前〉…国+歴公+数2+外+(理 or 理基2) ※歴公：世Bor 日Bor 地Bor 現 or 倫 or 政 or 倫政 →国+歴公+数2+理+外 ※</p> <p>歴公：世Aor 世Bor 日Aor 日Bor 地Aor 地Bor 現 or 倫 or 政 or 倫政 (生物資源)〈後〉…国+歴公+数2+外+(理 or 理基2) ※歴公：世Bor 日Bor 地Bor 現 or 倫 or 政 or 倫政 →国+歴公+数2+理+外 ※歴公：世Aor 世Bor 日Aor 日Bor 地Aor 地Bor 現 or 倫 or 政 or 倫政 (地球)〈後〉…国+歴公+数2+外+(理2 or 理基2) →国+歴公+数2+理2+外</p> <p>個別試験：人文・文化(人文)〈後〉…論2 →論</p> <p>社会・国際(社会)〈前〉…※歴：世Bor 日B ※数：数II・B →※歴：世Bor 日Bor 地理B ※数：数I・II・A・B</p> <p>社会・国際(国際総合)〈前〉…※数：(数II・B) or 数III →※数：(数I・II・A・B) or (数I・II・III・A・B)</p> <p>人間(教育)〈前〉…※数：数II・III・B →※数：数I・II・III・A・B (心理)〈前〉…※数：数II・III・B →※数：数I・II・III・A・B (障害科学)〈前〉…※数：数II・III・B →※数：(数I・II・A・B) or (数I・II・III・A・B)</p> <p>情報(情報科学)〈前〉…※数：数II・III・B →※数：数I・II・III・A・B (情報メディア創成)〈前〉…※数：数II・III・B →※数：数I・II・III・A・B</p> <p>理工(数学)〈前〉…※数：数II・III・B ※理：物 or 化 or 生 or 地学 →※数：数I・II・III・A・B ※理：物+(化 or 生 or 地学)</p> <p>(物理)〈前〉…※数：数II・III・B ※理：物 or 化 or 生 or 地学 →※数：数I・II・III・A・B ※理：物+(化 or 生 or 地学)</p> <p>(化学)〈前〉…※数：数II・III・B ※理：物 or 化 or 生 or 地学 →※数：数I・II・III・A・B ※理：化+(物 or 生 or 地学)</p> <p>(応用理工)〈前〉…※数：数II・III・B →※数：数I・II・III・A・B 〈後〉…論+面→面</p> <p>(工学システム)〈前〉…※数：数II・III・B →※数：数I・II・III・A・B</p> <p>(社会工)〈前〉…※数：数II・III・B →※数：数I・II・III・A・B</p> <p>医(医)〈前〉…※数：数II・III・B →※数：数I・II・III・A・B (医療科学)〈前〉…※数：数II・III・B →※数：数I・II・III・A・B</p> <p>生命環境(生物)〈前〉…※数：数II・III・B →※数：数I・II・III・A・B (生物資源)〈前〉…※歴：世Bor 日Bor 地B ※数：数II・III・B →※歴：地B ※数：数I・II・III・A・B</p> <p>(地球)〈前〉…※数：数II・III・B →※数：数I・II・III・A・B 〈後〉…論→面+志望動機書</p> <p>芸術〈後〉…実→面</p>
--	--

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、前期は211人(95)やや減少で2年連続減少。後期は、前年度減少の反動で114人(108)増加。今年度から前期で総合選抜を新規に実施したが、総合選抜を除いた学群・専門学群選抜の志願倍率は3.4倍→3.4倍と前年度並だった。

- 〈前期日程〉
- 今年度から導入の総合選抜は、募集人員413人に対して、志願者数1,134人、志願倍率2.7倍だった。方式別の志願場率は、個別試験で物理必須の(理系I)が2.8倍、均等配点の(理系II)が4.0倍、数学重視の(理系III)が2.7倍で、(文系)は2.3倍と4方式の中で最も低倍率だった。
 - 人文・文化(46)は、半減以下の減少。しかし、募集人員(前年度募集人員対比指数53)も大幅減少したので、志願倍率は3.5倍→3.1倍にダウン。学類別では、(日本語・日本文化)は総合選抜のみで募集となり、(人文)(比較文化)のみでの募集となったがいずれも志願倍率がダウン。
 - 社会・国際(94)は、やや減少。しかし、募集人員(前年度募集人員対比指数61)が大幅減少したので、志願倍率は4.2倍→6.4倍にアップ。学類別では、(社会)の志願倍率が5.4倍→9.0倍にアップ。
 - 人間(75)は、大幅減少。募集人員(前年度募集人員対比指数76)も大幅減少したことで、志願倍率は4.2倍→4.1倍と前年度並。学類別で目立ったのは、(障害科学)で志願倍率4.6倍→1.9倍とダウン。
 - 情報(43)は、半減以下の減少。募集人員(前年度募集人員対比指数49)もほぼ半減だが、志願倍率は3.7倍→3.2倍にダウン。

2021 年度入試状況分析【国公立大】

学類別で目立ったのは、(情報科学)で志願倍率 4.2 倍→3.0 倍とダウン。

- 理工(57)は、大幅減少。募集人員(前年度募集人員対比指数 60)も大幅減少だが、志願倍率は 3.2 倍→3.0 倍にダウン。学類別の志願倍率は、6 学類のうち、(化学)だけが 2.7 倍→3.0 倍にアップ。(数学)は 2 年連続 3.1 倍、それ以外の学類はダウンした。(物理)は募集人員が 45 人→20 人に減少したが、第一段階選抜の基を 5 倍→10 倍に緩和したことで、志願倍率は 3.9 倍→3.7 倍のわずかなダウンに留まった。
- 医(医)(117)は、大幅増加。募集人員(前年度募集人員対比指数 91)が減少したことで、志願倍率は 2.6 倍→3.3 倍にアップ。前年度は、2013 年の後期廃止以来最も少ない志願者数で 200 人を下回ったが、今年度は 200 人をわずかに上回った。
- 医(看護)は、前年度並で志願者数は 2 年連続 100 人を下回った。しかし、募集人員(前年度募集人員対比指数 89)が減少したことで、志願倍率は 2.1 倍→2.4 倍にアップ。
- 医(医療科学)(79)は、大幅減少。しかし、募集人員(前年度募集人員対比指数 60)が大幅減少したことで、志願倍率は 2.3 倍→3.0 倍にアップ。
- 体育(89)は、系統への人気が低下していることもあって、2 年連続減少。
- 生命環境(72)は、大幅減少。しかし、募集人員(前年度募集人員対比指数 66)が大幅減少したことで、志願倍率は 2.8 倍→3.0 倍にアップ。学類別では、(地球)だけが志願倍率が 2.4 倍→3.8 倍にアップしたが、(生物)(生物資源)はいずれもダウン。
- 芸術(78)は、募集人員が増加したにもかかわらず、大幅減少で 2 年連続減少。志願倍率は 3.3 倍→2.4 倍にダウン。

＜後期日程＞

- 人文・文化(84)は、大幅減少で 2 年連続減少。(比較文化)の後期廃止で、(人文)のみの募集となった。募集人員(前年度募集人員対比指数 91)も減少したが、志願倍率は 12.8 倍→11.8 倍にダウン。
- 人間は、今年度から後期を新たに実施した。志願倍率は、(心理)が 16.3 倍で最も高く、(教育)は 9.3 倍、(障害科学)は 4.3 倍。
- 情報(29)は、激減だが、(情報科学)(情報メディア創成)の後期廃止で、(知識情報・図書館)のみの募集となったことが要因。(知識情報・図書館)のみの比較では前年度と同数の志願者数だが、募集人員(前年度募集人員対比指数 67)が大幅減少なので、志願倍率は 5.7 倍→8.6 倍にアップ。
- 理工(186)は、激増。(物理)と(化学)で後期を新たに実施することがその要因。学類別の志願倍率は、後期を新たに実施する(物理)が 12.8 倍、(化学)が 6.3 倍だった。前年度から引き続き募集を行う 3 学類では、(応用理工)は前年度並、(社会工)が 6.9 倍→12.1 倍、(工学システム)が 6.8 倍→10.4 倍と共にアップ。
- 生命環境(100)は、前年度並。募集人員(前年度募集人員対比指数 79)が減少したことで、志願倍率は 5.1 倍→6.6 倍にアップ。学類別では、(生物資源)が 5.8 倍→7.0 倍とアップ、前年度志願者数が大幅減少した(生物)も 3.4 倍→5.8 倍とアップ。一方で、(地球)は 10.6 倍→8.3 倍にダウン。
- 芸術(59)は、大幅減少。しかし、募集人員(前年度募集人員対比指数 33)が激減したが、個別試験の実技を面接に変更した影響から、志願倍率は 13.3 倍→23.4 倍に大幅アップして、競争は激化。